

HIV/エイズ問題についての ICEM の取り組み

国連エイズ合同計画（UNAIDS）の報告によれば、世界には HIV/エイズ陽性者が4千万人いる。2005年だけでも、世界各国でエイズで亡くなった人は300万人以上に達し、さらに500万人以上の人々が HIV 陽性者となった。エイズ死亡者数が増えた結果、過去数十年間に開発活動で達成した成果を逆行させ、平均寿命を劇的に低下させ、文字通り時計が逆戻りする結果を招いた。国連のミレニアム目標（MDGs）はこれまで以上に達成不可能な目標のように見えてくる。

HIV/エイズの存在が最初に確認されてから20年経った現在、医学は大幅に進歩した。適正に抗レトロウイルス薬で治療すれば、陽性者は長年、QOLを維持することができる。しかし、抗レトロウイルス薬を入手できるのは、世界各国で治療を受けることができる陽性者たちの5%に過ぎないのが現状である。サハラ砂漠以南アフリカ地域では、この割合がさらに低くなり、1%にも満たない状況となっている。母親から子供への感染経路は予防できる。しかし、あまりにも少ない陽性者しか生命を助ける治療薬にアクセスできないのが実情である。

ICEM 及びその加盟組織は真の貧困撲滅政策を実施するよう、国際金融機関に求めている。これらの政策には機能しなくなった公共衛生システムの強化も含まれている。数十年間にわたる構造調整政策遂行による支出削減の結果、公共衛生制度が大きく後退したためである。各国政府は HIV/エイズ問題への対策にこれまで以上に、特にグローバルエイズ基金の助成を受けて、資金を注入すべきである、と ICEM と加盟組織は要請している。HIV/エイズに関する作業委員会を G8 が設置する案が要求の軸となっている。ICEM は適正な抗レトロウイルス治療が誰にでも提供されるという WHO の計画を支持する。

HIV/エイズ－労働組合の取り組み課題

HIV/エイズ陽性者の大多数は生産活動に従事している。以下の事情を背景に、私たちは HIV/エイズ問題は労働組合が取り組む課題である、と考える。

- 労働組合は職場内で活動できる。多数の組合員と周辺住民社会にルートを持っているため、労働組合は HIV/エイズ問題への取り組みにおいてユニークな存在である。
- 労働組合は HIV/エイズ陽性者に対する差別、不名誉な烙印や迫害の問題に取り組んでいる。
- 労働組合は労働者の信頼と信用を構築することができる。極秘検査、反差別及び抗レトロウイルス薬治療についての労働者の権利の擁護について重要な役割を果たすことができる。
- 経営側と協約やパートナーシップ関係について交渉する労働組合の能力は差別のない職場、自発的にカウンセリングやエイズ検査を受けること及び抗レトロウイルス治療を確保する取り組みにおいて重要となる。

HIV/エイズは人権問題であり、人権問題は労働組合が取り組む課題である。職場は権利の擁護、予防対策支援、治療へのアクセスについての取り組みに大きな可能性を提供する。労働組合は ILO の「HIV/エイズと働く世界に冠する行動規範」及びこれらに付随している教育訓練教材から組合活動のための指針を取り入れることができる。

女性

HIV/エイズ蔓延は特に女性に大きな打撃を与えている。不平等な夫婦・男女関係の結果、彼女たちは夫やパートナーの不貞や性的暴力にさらされる。世界の多くの地域において、HIV/エイズ陽性者の半数以上が女性であるという現状である。労働組合は、一般的に女性の方が男性よりも HIV/エイズ問題についての認識度が高い、という実情を認知しなければならない。女性たちは

家族、子供そして陽性者の世話をするという非常に重要な役割を果たす存在である。

ICEM と HIV/エイズ

ICEM は HIV/エイズが最も蔓延している産業部門である鉱業部門を組織している。これは鉱山労働者の仕事と生活環境に起因している。ICEM はまた、製薬産業に働く労働者も組織している。

- ICEM は国際レベルでその影響力を活用することができる。ICEM は、グローバルコンパクト、グローバルリポーティングイニシアチブ及び世界経済フォーラムなど、グローバルレベルの協議、対話を通じて、この問題に取り組んでいる。
- ICEM は、自発的極秘検査や、有効かつ適正価格の治療薬による治療の提供について主要多国籍企業と合意を目指す活動を展開している。
- ICEM は労働者の家族や親族及び地域住民への医療サービスの拡大を主張する。
- ICEM は HIV/エイズ陽性者及び患者に対する保護と治療の提供に関連し、資金供与の大幅な増額を長期的に誓言するよう、国際社会に呼びかけている。

FNV モンディアール及び LO/TCO の援助を得て、ICEM が組織した2つの開発援助プロジェクトでは、書記局は以下の事項に焦点を当てた。

- サハラ砂漠以南のアフリカ地域においてナショナルレベルのコーディネーターネットワーク構築と地域ワークショップでの当該コーディネーターの教育訓練、ならびにナショナルレベルでの協約交渉担当者及び職場代議員の教育訓練
- グローバル情報の推進及び広範に周辺住民を対象とする医療施設の設置

ICEM 加盟組織

加盟組織はこの挑戦に取り組み、HIV/エイズと闘う活動において積極的役割を果たすべきである。すでに組織として、HIV/エイズ問題に関する政策及び行動計画を策定している加盟組織が多くある。これらの加盟組織は当該活動の調整担当者を任命している。この取り組みの適正な実施状況に関する情報を広めていかなければならない。

労働者や一般大衆を対象にした意識向上及び感染防止に関する教育活動はしばしば企業や NGOs とのパートナーシップの下で組織される。

HIV/エイズ陽性者を擁護するため、労働協約の中に反差別及び反迫害に関する条項の挿入について団体交渉することはすべての加盟組織が取り組んでいる課題である。労働者に自発的カウンセリングと検査 (VCT) を受けることを納得してもらうためには、このような条項の挿入とその実施、並びに労働組合の幹部が示すガイダンスが肝要となる。

さらに進んで、有力鉱山企業や産業使用者団体と公式に合意し、協約を結んでいる組合もある。これらの、さらに充実した内容の合意事項には労働者を対象にした自発的カウンセリングと検査並びに高活性レトロウィルス両方 (HAART) の条項が包含されている。これらの条項を契約労働者、その家族並びに広範囲の周辺住民にも適用されるようにするため、今まで以上にプレッシャーをかけて取り組んでいく必要がある。

加盟組織はウェルネスクリニック (社会福祉を目的とする医療施設) の成功に重要な役割を果たす。ウェルネスクリニックは主要鉱山企業が労働者に提供する医療サービスを周辺社会に住む一般市民にも提供する医療施設である。自発的カウンセリングと検査 (VCT) 及び高活性レトロウィルス両方 (HAART) が広範に実施されれば、大きな成果が上がると思われる。また、誰でも治療が受けられる方向へ大きく前進することができる。

援助基金と教材

ICEM のウェブサイトには政府間組織、NGO、他の GUF 組織及びグローバル労働組合 HIV/エイズ計画などへのリンクが載っている。GUF はワールドエイズキャンペーンとの覚書に調印した。ICEM のウェブサイトには、また、ILO の「HIV/エイズと働く世界に関する行動規範」、世界銀行の HIV/AIDS Mining Tool Kit、並びに、世界エイズ・結核・マラリア対策基金 (世界基金) の年次報告書及び国連エイズ合同計画発行の「HIV/エイズ最新情報」などの重要な情報へのリンクも載っている。

ICEM はパワーポイントプレゼンテーションを作成した。このプレゼンテーションはウェブサイトに記載されており、加盟組織の HIV/エイズの活動に活用するためにダウンロードすることもできる。

ICEM は毎月、HIV/エイズ e-ニュースレターを発行している。

ICEM

国際化学エネルギー鉱山一般労連 (ICEM) は世界 125 カ国、420 労働組合に結集する 2000 万人の労働者を組織するグローバル労働組合連盟 (GUF) である。

ICEM

Avenue Emile de Béco 109

B – 1050 Brussels, Belgium

TEL: +32 2 6262020

FAX: +32 2 6484316

Email info@icem.org

HIV/エイズ問題連絡先 hiv.aids@icem.org.



HIV/エイズ問題 ICEM の対応

